

第45期卒業生代表の言葉

僕らの出会いがもし偶然ならば?運命ならば?巡りあえたそれって「奇跡」

三年前の入学式。私たちは出会いました。新たな日常に慣れるため、一生懸命だった日々。あれから三年が経ち、保護者の皆様や、教職員の皆様に温かく見守られ、学年の仲間と過ごしてきた日々が、今、懐かしく思い出されます。

「百花大成」を学年目標に掲げ、自分たちの大きな花を咲かせるために頑張ってきたこの1年。2年生になってやっと普通の生活ができるようになり、私たちの生活は、とても充実していました。

なんといっても、最高の思い出は、修学旅行です。4年ぶりに東北を訪れ、クラスみんなで力を合わせて踊ったわらび座でのソーラン節。何度も何度も汗をかきながら練習を重ねていくうちに、最初は恥ずかしかったのが、ウソかのように、心から笑い合い、仲良くなっていく私たちがいました。最高に盛り上がったソーラン節の発表会のあと、わらび座の皆様、GReeeeNの「キセキ」を合唱して贈ったあの瞬間。一つのことをみんなでつくりあげるすばらしさを知り、忘れられない思い出となりました。

そしてもう一つ。私たちにとって最初で最後となった合唱コンクール。練習の仕方。みんなをまとめる方法。どうやったらみんなが最大限の声を出せるのか。3年生ながらも分からないことばかりで、私たちは大きな壁にぶつかりました。苦しみながらも練習を続け、ついにみんなの歌声が一つになったとき。「ここまで頑張ってきて本当によかった。」と心の底から思いました。

「日々の中で、小さな幸せ、見つけ重ね、ゆっくり歩いたキセキ。」

諦めないこと。仲間を信じることの大切さ。本気で取り組むことで、大きな達成感や感動を味わえること。私たちはこの3年間で、大切なことを学ぶことができました。

在校生のみなさん。思えば、みなさんの笑顔にいつも励まされてきました。色とりどりの装飾や、合唱練習をする声を聴き、最後までみなさんからのエールを感じることができました。みなさんなら、北都中学校の伝統である挨拶、そして合唱への熱い思いをつないでいってくれと信じています。みんなで力を合わせて、Smile あふれる北都中学校をつくっていきましょう。

先生方。たくさんの愛情を注いでくださり、先生方がかけてくださった言葉は、私たちを正しい方向へと導いてくださいました。「周りのことを考えた分だけ、自分にも返ってくる」「完璧よりも前進」「まずはやってみること」どの言葉も、忘れることができません。先生方の言葉は、どんなときも、私たちの背中を押してくださいました。私たちを信じ、励ましてくださったことを胸に、自分たちの道を歩んでいきます。

最後に。家族のみんな。いつも温かく見守ってくれてありがとう。わがままを言ったり、反抗したり、傷つけてしまうこともありました。それでも大きな心で私たちを受けとめ、愛情を注ぎ、応援してくれました。私たちの弱さも全て包みこみ、いつも味方でいてくれた家族が「アリガトウや愛してるじゃまだ足りないぐらい」本当に大好きです。

「まだ旅の途中で、またこれから先も、何十年、続いていけるような未来へ。明日、今日よりも笑顔になれる」そう信じて、私たちは北都中学校を卒業します。

この3年間、最高の仲間に出会い、笑顔で生活できたこと。本当に幸せでした。私たちを支えてくださったすべての方々に感謝し、答辞とさせていただきます。

令和6年3月15日 卒業生代表

在校生代表の言葉

2年前の春。緊張した気持ちで中学校の門をくぐった私たちにとって、先輩方はすぐに憧れの存在になりました。堂々と中学校の紹介をしている委員会や部活動の先輩方をみて、感動したことを今でも、昨日のこのように覚えています。私もいつか先輩方のようにかっこいい先輩になりたい！そう憧れ続けた先輩方がこの北都中学校を卒業します。

卒業生のみなさん。本日はご卒業おめでとうございます。在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。私たち在校生は、先輩方と過ごした日々の思い出でいっぱいです。常に私たち在校生の前を歩き、お手本となってくださった先輩方の姿は、私たちの目標であり、心強い存在でした。そして、どの行事も普通に行えたこの一年間は、かつての日常がどれだけ幸せで貴重だったかを知る最高の一年間だったと思います。

4年ぶりに行われた合唱コンクールは、先輩方にとっても初めての行事でしたが、まるで3年間合唱コンクールをやってきたかのように、合唱練習に取り組む姿勢や、ひたむきに歌う姿を見て、合唱をつくりあげていくとはどういうことかを学ぶことができました。文化祭当日。クラス全体が一体となり、体育館中に素敵な歌声が響き渡りました。

一人一人が真剣に取り組み、みんなの気持ちが一つになった合唱は、こんなにも人の心を打つことを知り、感動しました。合唱だけではなく、先輩方が手拍子やかけ声で盛り上げてくださったおかげで、文化祭は全校生徒が楽しめる最高の行事になったと思います。

何に対しても全力で取り組む姿勢。北都中学校に響いた挨拶。職業調べや高校調べて作った素敵な掲示物や素晴らしいスピーチ。部活動や委員会に取り組む姿勢。そして、文化祭で聴いた合唱。どれも間違いなく3年生が一番素晴らしかったと思いました。

先輩方のことで一番印象深かったことは、いつでもかっこいい後ろ姿を見せてくださったことです。私たちが困っていたら、先輩方は優しく話しかけてくださいました。正しいことを行う姿を見て、勇気をもらいました。北都中学校をさらによくするにはどうしたらいいかを真剣に探し続ける姿を見て、尊敬しました。素敵な挨拶をした人にスマイルシールを配り、大きな掲示板いっぱいにシールが貼られた挨拶運動。たくさんの人が参加できるように工夫された校区内清掃。

私たちもその気持ちをつなぎ、みんなで知恵をしぼり、今、全校生徒がスマイルでいられるために何ができるのかをこれからも問い続けていきます。

私たちはいつも、先輩方のかっこいい背中を追い続けてきました。学校生活をいい方向へつないでくださったのは間違いなく、今日卒業される先輩方です。先輩方のように、後輩たちが憧れる。そして、皆さんのように後輩たちをスマイルにできる、そんな3年生になります。

先輩方がこれから進む道は決して楽な道ばかりではないでしょう。さまざまな困難や壁にぶつかることもあると思います。そんな3年生に、私が読んだ本の素敵な言葉を贈ります。

「困難に向かい合ったとき。もうだめだ、と思ったとき。想像してみるとよい。3時間後の君。涙が止まっている。24時間後の君。涙は乾いている。2日後の君。顔を上げている。3日後の君。歩き出している…。」

自ら選んだ道を信じ、新たな世界をつなぐ先輩方を、私たちは応援しています。

在校生一同、心からの感謝とお祝いの気持ちを込め、送別の言葉とさせていただきます。

令和6年3月15日 在校生代表